

火山噴火予知連絡会における検討について

参考資料

科学技術・学術審議会測地学分科会
火山部会（第27回）
H20.12.15

火山噴火予知連絡会 『火山観測体制等に関する検討会』

火山災害軽減
に向けて、

- 調査研究推進
- 観測体制強化
が重要となる

検討事項

- ①調査研究の推進及びその成果を踏まえた監視体制のあり方
- ②国として必要となる観測網、観測データの流通及び共有体制のあり方
- ③関係各機関の役割分担と観測網整備の優先度を踏まえた火山毎に必要な具体的な観測網のあり方

検討会としての
取りまとめ



検討結果を踏
まえ、関係各機
関が必要な観
測体制を整備

これまでの検討

第1回検討会 (H20年2月)

・今後の調査研究に必要となる観測体制のあり方を6月に中間報告する予定とし、検討のため観測点調書を作成

第2回検討会 (H20年4月)

・活動的で観測網整備済みの火山、活動的だが観測に制約が大きな火山、休止期間が長く事例に乏しい火山の3つに分けて、今後の研究観測に必要な観測網の考え方を検討

第3回検討会 (H20年5月)

・基盤的観測網の考え方を議論し、今後の進め方を再検討することになった

今後の検討

第4回検討会 (11月26日)

・気象庁の火山監視の考え方の検討
・観測データの流通及び共有体制のあり方の提案



今後の検討会での検討課題

・関係各機関の役割分担を踏まえた各火山の具体的な観測体制の検討
・観測データの流通及び共有体制のあり方の具体的検討
・国として必要な観測体制の取りまとめ

火山噴火予知連絡会

『火山活動評価検討会』

全国の活火山における今後の噴火等が発生する可能性について、中長期的な観点から検討を行い、防災対策が必要となる火山を選定する。

